

FFRCT解析検査

5月末より新規導入!

- ✓ FFRCT解析検査とは、
心臓CT検査の画像で血管が狭くなっている場所の血流について調べる検査です。

どの程度、影響を与えているのか？ 症状の原因か？

- ✓ この検査では、撮影した心臓CT検査の画像を専門機関のコンピューターで解析し、**血液の流れをシミュレーション**することができます。

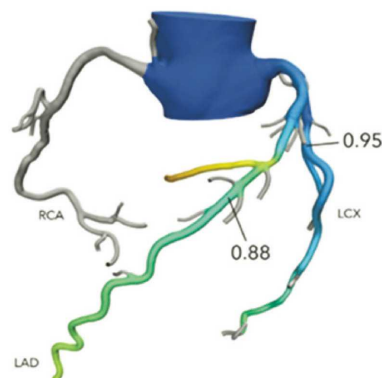
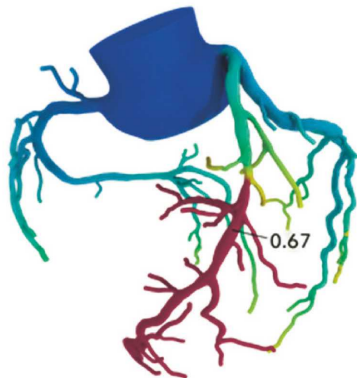
メリット

- 外来で検査が可能です。
- すでに撮影したデータを使用するため追加の検査は必要ありません。
- 検査の精度が高いことが、多くの研究で検証されています。

デメリット

- 撮影した画像によっては解析できない事があります。
- 検査に一定の費用がかかりますが、保険診療の範囲内で行えます。

解析の一例



このFFRCT解析を導入するには基準が設けられており、この基準を満たしている施設のみ導入することが可能です。

※本検査は、担当医が検査の適応を判断します。
病状や既往歴によっては検査を行えない場合があります。



この度、当院情報誌ファミリーでは、様々な職種の人々の日頃の仕事の様子などについてみなさまにご紹介する「病院探訪!!」という新しいコーナーを開設いたしました。

今回はその第1弾として、当院の総長であるさいとうよしひこ齋藤能彦先生にいろいろなお話を聞きました。

Q1. 総長就任のいきさつについて聞かせてください。

奈良県立医科大学附属病院で定年を間近にしておりました頃、上田理事長より西和医療センターに総長として就任して欲しい、とのお声掛けを頂きました。上田理事長より言われたのは、西和医療センターでは比較的自由に活動して下さいということと、病院機構においては教育・研究担当理事として業務にあたって欲しい、ということでした。私自身の長年にわたる大学病院での様々な経験と知識を役立てられるのであれば、これ以上の光栄なことはないと思い、有り難く総長の職を受けさせていただきました。

Q2. 総長に就任してから当院に対して、どのような印象を持ちましたか？

働く職員みなを非常に近くに感じることができ、同時に温かみも感じることができました。それぞれ違う職種、部署の人同士であっても、顔を合わせれば挨拶を交わすことがごく自然にできていることに驚きと嬉しさを感じました。

また、教育・研究担当という観点から申しますと、残念ながら未開発の部分があり、課題が少なからず有ることは否めないとも感じました。日頃の診療、救急患者さんの受け入れに邁進することは勿論のことではありますが、学術的側面の向上も非常に大切なことと考えており、その為には病院内の臨床研究のサポート体制の強化も必要だと思えます。しかし、焦りは禁物です。医療の質の向上には、患者さんを科学的に捉える研究的側面が必要です。まずは、目の前の患者さんひとりひとりに真摯に向き合っていくことが第一で、そこから自ずと学術的側面も磨かれると思えます。

Q3. 総長としてのお仕事について聞かせてください。

現在、一番エネルギーを投入しているのは、病院の移転・新築に向けた計画と活動です。西和地区の基幹病院である「新西和医療センター」にはどのような機能が必要かを考え、現在は基本計画の作成に注力しています。現場のひとりひとりの声に耳を傾けること、また、開院が少し延びましたので、それまで職員みな士の士気を維持することが大切だと思っています。そして、人材の確保にも頭をめぐらしております。

他には、大学病院時代から継続している研究活動、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）における審査委員としての活動、学会での活動などがあります。

Q4. 医師を志したきっかけ、または影響を受けた人物や出来事があれば聞かせてください。

私自身の両親が医師であったことが大きく影響しているのではないのでしょうか。子供の頃から医師として働く両親の姿を間近に見て、気づけば自身も医師になるものだとして自然に考えていました。

Q5. 西和医療センターのこれからの目標について、総長としてどのように考えていますか？

まずは患者さんから好かれ、そして職員が誇りを持って働けるような病院でありたいと思います。そして、全国のみなさまから西和医療センターのような病院にかかりたい、働きたい、また新築する時にも目標となるような「日本一の中規模病院」となることを願っております。

Q6. これから医師を目指す若い方々に向けたメッセージなど聞かせてください。

患者さんに優しく、志を高く持ち、そして教えられ上手になって欲しいです。教えられ上手というのは、舞い込んでくるどんな仕事もポジティブに捉えて快く引き受ける、ということですが、そうしていると色々な“おまけ”が付いてきて、自分自身の仕事への考え方やスキルの向上に繋がります。小さなもしくは誰もがあまり望まない仕事であっても、その仕事を通じて大きな助言を得たり、次の大きな仕事に繋がることがあると思います。この3つは医師としての心と技術の向上への近道であり、より良い充実した人生に繋がると信じております。



奈良県西和医療センター総長 齋藤能彦先生

最後に・・・

病院には様々な職種のひとが働いています。その中でも今回は、総長にお話を聞きました。みなさま、いかがでしたでしょうか？ 今後も広報委員会では様々な検討を重ねながら、いろいろな職種の人々の日常について、ご紹介できればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

● お知らせ ●

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

- 令和5年9月7日 (木) 17:30~18:30
心不全看護認定看護師 乾 早紀子



医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和5年9月21日(木)14:00~15:00
腫瘍内科・総合内科
薬剤部
- 令和5年11月16日(木)14:00~15:00
循環器内科
中央臨床検査部

*変更の可能性も
あります。詳細は
お問い合わせ下さい。



❤️ 心臓リハビリの申込の流れ



①初診予約

まずは地域連携室へご連絡いただき、循環器内科の初診予約をお取りください。
ご予約が取れましたら、かかりつけ医にご相談いただき、紹介状をご持参ください。
(電話番号:0745-32-0505)



②問診・診察・検査

ご来院いただき、問診・診察、患者さんの体調や症状を検査します。



③病状説明、運動処方

患者さんの病状を説明させていただき、医師、理学療法士など専門のスタッフと
相談し、患者さんにとって最適な運動処方をご提案します。

④心臓リハビリテーション開始

心臓リハビリテーションのご予約を取っていただき、リハビリ開始です。

★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントシステムを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。継続的な改善活動に取り組んで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民に貢献します。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和5年8月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

